

生涯学習職員研修「基礎研修会」

趣 旨 生涯学習・社会教育関係職員等の資質向上を図るために必要な基礎的・基本的事項について研修し、生涯学習の推進を図る。

実施主体 新潟県立生涯学習推進センター

参加対象 市町村生涯学習・社会教育関係職員等

参加者数 延べ 61名

回数 2回 **日 数** 3日 **時 間** 14時間半

場 所 新潟県立生涯学習推進センター大研修室

内 容

回	期日・時間	テーマ	講師等
1	5月30日(火)～ 31日(水) 10:00～16:00	生涯学習推進計画・社会教育計画の立案 学習プログラムの立案	常磐大学教授 中村正之 燕市教育委員会主幹 真柄正幸
	内容・ 方法	<p>○ 30日午前は、資料をもとに、「生涯学習と社会教育」の講義を行った。午後は、5グループに分かれワークショップを行い、生涯学習推進計画の立案(基本構想・基本計画)に取り組んだ。</p> <p>○ 31日午前は、資料をもとに、講義を行った。午後は、5グループに分かれ、資料・ビデオをもとに、各グループで学習プログラム立案を行った。</p>	
2	11月28日(火) 10:30～16:00	市町村合併を生かした先進 的实践事例から学ぶ	講師 生涯学習ゆめ・みらい研究所長 工藤日出夫 事例発表者 佐渡市教育委員会生涯学習課社会教育主事 坂井 一美 胎内市教育委員会生涯学習課文化・文化財係主任 伊東 崇
	内容・ 方法	<p>○ 午前の研修1講義では、全国の事例や講師の様々な経験をもとにした実践的な講義を行った。</p> <p>○ 午後の研修2事例発表・演習では、2事例の発表を聞き、工藤講師の司会・進行で発表者への質疑応答を行った。また、参加者のそれぞれの悩みや市町村での課題等を出し合い・意見交換を行った。最後は講師による全体のまとめを行った。</p>	

成 果

- 生涯学習・社会教育関係職員等の資質向上を図るための基礎的・基本的事項についての研修では、講義と演習を組み合わせた手立てが有効であることが、アンケートからうかがえる。
- 「少人数での話し合いができ、互いの意見を活発に出し合うことができた。また、互いの悩みや市町村の課題を出し合い、それに対する指導者からの適切なアドバイスを得ることができた。」等の感想が多く寄せられた。生涯学習・社会教育関係職員としての資質向上を図るためには有効であったと考えられる。

課 題

- 今回は、市町村や前年度参加者のアンケートをもとに内容を構成したが、県全体の現状をふまえる中で課題を一層焦点化して、内容を構成することが求められる。
- 広報活動(効果的なチラシづくりや配布の工夫等)をより積極的に行い、参加者増を図る。

問合せ先 新潟県立生涯学習推進センター学習振興課(担当 若月信久)
TEL: 025-284-6110